

ちちぶ

2018.5.10

第52号

市議会だより



永田保育所



様々なイメージキャラクター
ポテくん

3月定例会

- 30年度各会計予算を可決
 - 一般会計 283億8000万円
 - 特別会計 161億2739万円
 - 企業会計(市立病院) 34億7745万円
- こども医療費の年齢拡大(10月～)

元気いっぱいの月組22名は、
外あそびが大好き。
鉄棒・うんてい・なわとびなど
色々なことに挑戦しています。
「今日も頑張るぞー！」
「エイエイオー!!!」

3月定例会の議案質疑等の内容

※3月定例会（2月21日から3月16日まで開催）では、市長提出議案43件のほか、議員提出議案1件を審議しました。30年度予算に関わる質疑の主な内容は下記のとおりです。（30年度予算の討論、その他の主な議案についての質疑については4～5ページに掲載しています。）

歳入

地方交付税

問 地方交付税12億5千万円減額の理由は。

答 30年度は繰上償還を行わないことから、交付税措置分に減額が大きく生じた。繰上償還を行った場合、合併特例債では元利償還金の70%が普通交付税の基準財政需要額に算入されるため、その分の普通交付税が増額される。また、合併算定替えに基づく激変緩和措置の縮減がある。激変緩和措置とは合併年度とそれに続く10年間で経過した後、その後の5年間で徐々に合併算定替えによる普通交付税の増額が縮小されるというもの。措置対象期間の初年度は差額の9割が支給され、その後7割、5割、3割、最後の5年目が1割となる。当市は措置縮減期間に入っており、29年度は7割の措置があったが、30年度は5割であるため1億5千万円が減少した。

消防団詰所

問 消防団詰所新築工事の場所と内容は。

答 消防団詰所整備計画に基づき2棟の新築解体工事を行う。1か所目は近戸町地内の詰所で、老朽化対策と耐震性を高めるために新築する。2

か所目は上白久地内の詰所で、市道荒川幹線4号線の道路拡幅工事に伴い移転が必要なことから新築する。なお、いずれの詰所も木造2階建て瓦葺延べ床面積は85㎡程度の建物を予定している。

セーフスクール

問 セーフスクール推進業務委託料の大幅な増額理由は。

答 通年の支援業務は24万3千円であるが、それに加えて10月に予定しているインターナショナルセーフスクール(ISS)3校への再認証本審査、11月の再認証の式典に係る業務委託料の335万7千円が増額となっている。セーフスクール活動は3年に1度再認証が必要となる。

尾田蒔中学校

問 尾田蒔中学校校舎大規模改造工事実施設計業務の内容は。

答 外壁の老朽化が著しいこと、トイレの洋式化率が3・3%と他の学校に比べても低いこと、トイレの不具合が報告されていることから外壁改修およびトイレ改修に重点を置き、過去の事例や学校等の調整を図りながら検討、決定をしていく。

病中病後児保育

問 病中病後児保育委託の内容は。

答 宿泊を伴う預かり、それから緊急時の送迎等についてあらかじめ登録を行っているサポート会員を紹介する事業である。サポート会員の募集や講習会の開催、利用者とサポート会員のつなぎ役としての業務として県内の実績のあるNPO法人への委託を想定している。

妊娠・出産・子育て

問 妊娠・出産・子育てで包括支援事業(定住)の内容は。

答 29年10月から開始した助産師による事業(ほっとハグくむママサロン)を継続して開催するもの。妊産婦等が抱える妊娠・出産・子育てに関する悩みや、授乳や卒乳に関する相談など、妊娠前から子育て期にわたる切れ目のない支援をめざし、専門職である2人の助産師が横瀬町の児童館等を会場とし、毎週水・金曜日に対応している。29年10月から30年1月までの4か月間に延べ130件の相談に対応している。



の様子 (本庁舎4階)



ほっとハグくむママサロン

こども医療費

問 こども医療費の1億9480万円の積算根拠は。

答 16歳から18歳の年齢拡大分は、近隣の自治体の状況から年間3千万円としている。こども医療費については現物給付形態をとっており、30年度は10月診療分から1月診療分までの4か月分の医療費を30年度の予算で支払うことになる。年間3千万円分の3分の1である1千万円を増加分として見込んでいる。医療費の前年度の決算等を勘案し、0歳から15歳までの現状の予算を合算して1億9480万円と見込んでいる。

問 林政アドバイザーとは。

答 29年度に林野庁が創設した、市町村職員が林業に関する知識や技術を向上させるため、林業の専門知識を有するものを市町村が雇用し、職員に対してのアドバイザーとしてもらう制度である。今後、森林環境税が創設され、31年度から経営意欲を失った森林所有者の森林について市町村が森林所有者に代わって管理することになるが、市町村には林業の専門知識を有する職員

が少ないのが現状である。市では県から林業職員が派遣されているが、今後、市の役割がますます重要となるため、職員を育てる目的で導入したい。具体的には森林調査や森林整備の仕事に関してアドバイザーをしてもらう。



林政アドバイザー

住宅リフォーム資金助成

問 住宅リフォーム資金助成金が昨年と同額の1200万円となっている。耐震補強工事補助制度の拡充は図られているか。

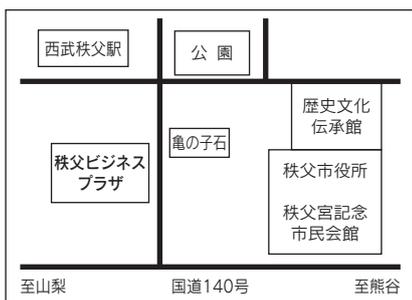
答 住宅リフォーム20万円以上の工事に対し工事費の10%、上限15万円を助成する制度だが、今まで耐震工事の申請はない。耐震工事を行う前に耐震診断(補助額上限5万円)を行ってもらうことが先決と考え、耐震診断補助と併せて住宅リフォーム資金助成制度をPRすることとした。耐震工事の補助額上限15万円は変

わらないが、住宅リフォーム助成を過去に受けていても1回に限り、この制度を利用してきることも含めて啓発活動に力を入れたい。

(仮称)秩父ビジネスプラザ

問 (仮称)秩父ビジネスプラザ事業における土地購入の理由は。

答 購入を計画している土地はビルの西側に隣接する土地103・51㎡である。ビジネスプラザ利用者の駐車場用地として購入したい。これにより6台程度の駐車場が確保できる。



秩父ビジネスプラザ略図



3月定例会本会議

学力の向上

問 チチブアフタースクールスタデイの29年度実績と30年度の事業展開は。

答 チチブアフタースクールスタデイ(夜勉)は29年度より始めた事業で、地域人材による学習支援の場を設け、小中学生の学力向上を図るモデル事業として実施した。原谷公民館でこれまで20回実施し、110人を超える小中学生が登録し、延べ1661人が参加している。退職教員、教員免許状を取得した大学生等15人が学習支援ボランティアとして登録し支援を行っている。30年度は原谷公民館に加え、影森公民館の2会場で実施し、より幅広く子どもたちの学習支援に取組んでいきたい。この事業は、県から地域力活用モデル事業として助成を受けている。

問 原谷公民館に加えて影森公民館でも実施することだが影森に選定した理由は。

答 原谷公民館では、原谷地域である一中や原谷小の児童生徒が多く、地域の偏りがあった。荒川中などの生徒等は少なかつたので、南側の影森公民館で開催することとした。

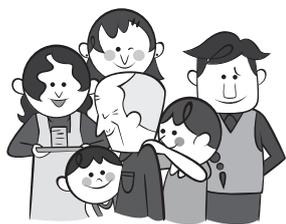
介護保険特別会計

問 29年度に比べ、率にして4・8%もの増額予算となっている主要因は。

答 29年度、特別養護老人ホームが129床、市内に新増設されたことから介護給付費を大幅に増額した。

問 ちちぶ在宅医療連携拠点事業の内容は。

答 27年から郡市医師会を通じて市立病院で実施している事業で、1市4町の共同事業である。国は30年4月までに、介護保険の地域支援事業における在宅医療介護連携推進事業として、実施するよう求められており、今回予算化した。



30年度予算に対する討論

一般会計予算

討論

賛成

30年度一般会計予算は、経営方針の理念に沿って、市の将来像を29年度と同様に「豊かなまち、環境文化都市ちちぶ」とし、そのためのテーマを、市民との協働により、「日本一しあわせなまち」で人口増加をめざすとして予算計上されている。

市の最重要課題である雇用の拡大を図るため、新規企業誘致はもちろん、地元企業に対する対応も積極的に行っている。先端設備等導入促進計画を策定し、地元企業が32年度までに行う設備投資に対する固定資産税を、3年間免除する特例処置を講じている。

また、深刻化する医師不足に対し、地域医療の強化として「総合診療専門医養成プログラムちちぶ」により後期研修医を育成し、医師確保につなげている。新規事業では、地域新電力会社の立ち上げも計画されており、将来に期待が膨らむ。さらに、福祉・教育・環境・観光など全ての分野で、バランスよく有効的に組み立てられた予算であり、賛成する。

反対

情報システム事業にマイナンバー関連経費が計上されているが、発行件数はわずかで交付率は7.6%。これは高額な費用をかけながら、いまだにメリットはなく、同時に市民がプライバシーの問題や個人情報漏えいの危険性を感じていることの表れである。

児童福祉費では「子ども子育て新システム」の施行に伴い、公的保育の責任放棄につながる施策が推し進められようとしている。また、子育てする保護者の就労が増え、公的保育の需要はますます増え続けているなか、保育にあたる保育士や保護者の要求にこたえる予算となっていないのか疑問が残る。さらに、パートや臨時職員の増大とその待遇改善が求められる。

生活保護費は、厳しい社会状況下の最後のセーフティネットであるが、基準単価の引き下げなど、厳しさを増す社会情勢にこたえきれぬものとなっていない。さらに、ケアスワーカーの増員が求められる。このようなことが盛り込まれている予算を容認できず反対する。

反対

国によるマイナンバー制度に係る予算が含まれている。市民や市にとって明らかにデメリットや危険性の高いマイナンバー制度は、

討論

反対

下郷福祉交流センターの廃止はまぎれもなく福祉の後退そのものである。老朽化した宮地児童館の機能を移転することに反対するものではないが、そのために福祉交流センターを廃止するとは本末転倒である。提案に至る手続きの点も、市民参画や市民との協働のまちづくりとは無縁で、市民の意思が十分に図られていると言えないことから賛成することはできない。

一般会計補正予算(第2回)

問 地方創生推進事業の既存建築物の解体工事内容は。

答 上町地内の市営花の木住宅1棟の解体予算である。解体後には秩父版CCRC事業としての交流拠点整備事業および公募事業者によるサービス付高齢者向け住宅を整備したい。

新年度予算以外の主な議案に対する質疑・討論

福祉交流センター条例の一部改正

問 第1条に「高齢者・児童生徒及び地域のあらゆる人たちの世代交流並びに福祉活動の場を提供し、ふれあい及び支えあいの心豊かな地域づくりを図る」とある。下郷福祉交流センターを廃止するということだが、この目的を果たさなくなつたという理解でよいのか。

答 目的を果たさなくなつたということではなく、利用状況や宮地児童館の状況を総合的に勘案してセンターの1階を新たに児童館施設としてリニューアルさせる判断をしたものである。



議会の議員の定数を定める条例の一部改正

市議会議員の定数を現行の22人から20人とする議員提出議案として29年12月議会に提出され、閉会中の継続審査として、議会運営委員会に付託された。3月定例会初日の2月21日に本会議にて審査、討論、採決が行われ、賛成10、反対11の反対多数により、否決された。

討論

賛成

29年11月22日の各派代表者会議で諮って以降3カ月間、市議会として現在取りうる最大限の議論がなされてきた。全国の市議会における人口、面積換算における客観的数値データを踏まえた検証および将来における市の課題を精査したうえで議員定数の妥当性の議論を行ってきた。また、多くの市民もこの議案に賛同しているなど、総合的に判断した結果、急速な人口減少を踏まえ、議員定数を適正化し、円滑で効率的な議会運営を目的とした定数削減は必要であり賛成する。

反対

選挙の告示日まで2カ月を切った時期に議員定数を削減することは立候補の機会の平等を欠く。議員定数が削減されれば、行政あるいは市長のチエックという機能を弱めることになる。また市民の多様な意見を反映しにくくなることは必然であり市民の利益を損なう。

定数は単に人口比を目安にするのではなく、固有の事情や条件を勘案し、十分に検討したうえで市独自の定数を定めなければならぬ。十分な検討を経ないまま、選挙戦術にしか見えない「議員自らが身を切る」というパフォーマンスによって結論を急ぐことは、市の将来に禍根を残すことになる。

賛成

27年度決算統計資料によると、県内で議員定数が22人の議会は、秩父市を除いて、行田市、本庄市、狭山市、入間市、坂戸市の5市であるが、いずれの人口も秩父市より多い。さらに、行田市は次期改選時には、定数20人に削減。本庄市も30年1月の選挙において定数を21人に削減した。現在、定数22人の市議会は、人口10万人を超える3市のみとなっている。

定数20人の市議会は、北本市、蓮田市、吉川市の3市で、現在人

口約6万4000人の秩父市は定数20人が妥当であると考える。

もちろん人口だけでなく、面積など多面的に論ずるべきことも必要であるが、議員の報酬が市民の納める税金から支払われていることを考えると人口は重要な要素である。今後の人口減少予測も踏まえ、定数削減を4年後の改選時までのばすことはできない。

市の厳しい財政状況からも、議員定数を削減し、議員自らが身を切る覚悟が必要であり、市民の負担に応える努力をすべきと考える。

埼玉県内の市議会議員定数

市	人口	議員定数
秩父市	約64,000人(H30.1)	22人
行田市	約83,600人	22人
本庄市	約79,000人	22人
狭山市	約153,700人	22人
入間市	約140,600人	22人
坂戸市	約101,400人	22人
北本市	約68,000人	20人
蓮田市	約62,500人	20人
吉川市	約71,000人	20人

27年度決算統計資料による

反対

議会改革と行財政改革とは質の違うものであると強く認識する必要がある。議会改革は、制度としての民主主義をいかに実現してい

くかを目指す改革であり、より積極的に自らの権能を果たすための改革が求められる。

委員会での審議では、議員定数の2人減の是非に議論が集中し、最も重要となる市議会のビジョン「将来どのような議会になっていくべきなのか」という議論が深まることはなかった。

「もっと仕事をして期待に応えられる議会」への改革を進めるための早急な議論の開始を求めるとともに、定数については、将来のビジョンについての議論が深められていないことから反対する。

反対

本来議員定数は、「市民に対して、わが市ではこうだった根拠に基づいて定数を定めている」という説明ができる必要があると考える。

定数改定について議会基本条例は、行財政改革の側面だけでなく、人口や面積、市の財政状況等の現状と課題、将来の予測と展望について、十分に考慮しながら総合的に検討すること、市民への説明責任を果たすため、明確な改正理由を付して提出することを定めている。今回、議員改選を間近に控えて唐突に提出された議案は、条例の趣旨を踏まえたものとなっていないことから反対する。

常任委員会の報告

総務委員会

3月定例会に付託された議案7件について報告する。

◆埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少

◆埼玉県市町村総合事務組合の規約変更

◆空き家等対策協議会条例

◆特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

問 空き家調査の結果は。

答 空き家の件数は、2228件でそのうち1823件でアンケート調査を実施し、現在、調査内容を集計中である。

◆空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例の一部改正

◆29年度一般会計補正予算(第5回)

問 消火栓新規負担金の増額理由は。何基設置予定か。

答 当初28基を予定していたが、6基増えて、34基新設となる。

問 ふるさと納税寄付金5千万円の減額理由は。

答 国の方針により、返礼率は30%以内となった。資産性の高い返礼品については、見直しをするよう通知を受け、29年10月から人気のゴルフクラブや一眼レフカメラ等を取りやめたことによるもの。その後、国が柔軟な姿勢を示した

ことから、12月より復活した。

意見 返礼率30%を守りつつ、他地域に負けない、地域の特性を生かした返礼品になるよう積極的に取り組んでもらいたい。

○以上6件は原案のとおり可決

◆30年度一般会計予算

問 新規事業のインターネットテレビ事業の内容は。

答 おもてなし観光公社に委託予定で、市政情報、観光イベント情報、災害情報、まちの話題等を放映する予定。

問 マイナンバーカードの申請と交付件数、交付率は。

答 30年1月末で申請が5771件、交付が4857件、市民全体での交付率は、7・6%である。

意見 マイナンバーについては、多額の費用をかけているのにメリットがない。これらが含まれる予算には反対する。

意見 LED防犯灯導入調査について、環境省の国庫補助金がなくなったため、他の補助金等の手当てができるまでの間、歳出を凍結との説明があったが、各町会も大いに期待している事業なので、前向きに検討していただきたい。

○挙手多数により可決。



まちづくり委員会

3月議会で付託された18件について報告する。

◆市道の路線変更(下影森・下吉田地区)

◆市道の認定(下影森・板合地区)

◆市道の廃止(大野原・大畑町・黒谷・品沢地区)

◆市有住宅条例

問 井ノ尻住宅を管理運営するために新規制定されるものであるが、他の市有住宅を管理運営するため例規等はあるか。

答 現状では条例等を制定していないため、市営住宅管理条例を準用する形で管理運営を行っている。根拠とすべき条例等の制定に関しては、今後検討していく。

◆特定公共賃貸住宅条例の一部改正

正 ◆都市公園条例の一部改正

◆勤労者福祉センター条例の一部改正

問 ファシリテイマネジメントの観点から見た荒川勤労者福祉センター廃止による具体的な効果は。

答 建物は現在旧上吉田小学校敷地内の音楽室を使用している選挙管理委員会の倉庫として利用する予定。センターとしての利用廃止による光熱水費、清掃等の委託料削減および選挙管理委員会の事務所から倉庫までの移動距離短縮に

よる事務の効率化や経費削減等の効果がある。

◆29年度一般会計補正予算(第5回)

問 中央500号線、通称番場通りの無電柱化に際しての工方法及び業者選定の基準は。

答 全国のモデル地区で行われる無電柱化工事の検証を参考とし、寒冷地でもある当市に最適な工法で施工できるよう、業者を選定して事業を進めていく。



番場通り

◆29年度下水道事業特別会計補正予算(第3回)

◆29年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第3回)

◆29年度戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第3回)

◆29年度駐車場事業特別会計補正予算(第3回)

常任委員会の報告

◆30年度一般会計予算

問 林業振興活動支援事業の非常勤職員報酬について。採用する地域おこし協力隊の活動内容は。

答 30年度は6月以降に採用し、市有林での伐採、作業道開設など自伐林業への従事のほか、雨天等の際は、机上での森林調査や境界確定事務への従事を予定している。

問 龍勢会館費のシアタールーム映像コンテンツ改修業務委託料170万円に關し、今後の予定は。

答 現在は18年度に撮影したアナログ映像を放映しているため、新たに龍勢に關わる映像を通年でハイビジョン撮影・編集するための予算で、30年度早々に業者選定および契約締結する予定である。

問 道路新設・改良事業、トンネル点検業務委託料1千万円の事業内容は。

答 市内8か所の所管トンネルのうち29年度で4か所の点検を終えているため、残り4か所の点検を行い、健全度を基に必要に応じた修繕等を行っていく。

◆30年度下水道事業特別会計予算

◆30年度農業集落排水事業特別会計予算

◆30年度戸別合併処理浄化槽事業特別会計予算

◆30年度公設地方卸売市場特別会計予算

○以上18件は原案のとおり可決

文教福祉委員会

3月定例会で付託された議案19件について報告する。

◆指定管理者に指定する団体の変更(浦山歴史民俗資料館)

◆指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に關する基準等を定める条例

◆福祉交流センター条例の一部改正

問 高齢者が集う施設であり、必要な設備改修を行い、地域サロン等で活用し、介護予防、疾病予防につなげてはどうか。

答 他の施設に比べ、利用者が少なく、地域サロン活動も活用が少ない。廃止し、老朽化の著しい宮地児童館を移転することが、福祉全体を考え最良の選択である。

◆児童館条例の一部改正

◆子ども医療費支給に關する条例の一部改正

◆介護保険条例の一部改正

◆国民健康保険条例の一部改正

◆国民健康保険条例等の一部改正等

問 国民健康保険の財政主体が市から県へ移行する今回の広域化におけるメリットとデメリットは。

答 デメリットはあまりない。メリットは、県が財政主体となるので、財政力が弱く人口の少ない市町村は負担が少なくなる。高額の

療養費の自己負担限度額の規定が、市町村単位から県単位に適用が広がり、被保険者負担も少なくなる。

◆市立病院使用料及び手数料条例の一部改正

◆学童保育室条例の一部改正

◆29年度一般会計補正予算(第5回)

◆29年度国民健康保険特別会計補正予算(第3回)

◆29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)

◆29年度市立病院事業会計補正予算(第3回)

○以上14件は原案のとおり可決。

◆30年度一般会計予算

問 病後児預かり保育事業および病中病後児保育の概要は。

答 病後児預かり保育事業は、ファミリー・サポート・センターに病後の子どもを預けた場合に、利用料金の3分の1を市で負担するもので、病中病後児保育は、「病児保育を作る会」というNPO法人の協力で、30年度から病中病後児保育が行えるよう措置するもの。

問 学校給食管理運営事業に31年度から影森小学校共同調理場を荒川共同調理場へ統合するための工事費が含まれているが、統合の理由は。

答 学校給食衛生管理基準が厳しくなり、現在の影森小学校の敷地では、改修、建て替えが難しく、荒川共同調理場を整備し、統合す

ることとした。

○挙手多数により可決。

◆30年度国民健康保険特別会計予算

問 一般会計からの繰入金について、今後の方向性は。

答 30年度から35年度までの6年間で赤字繰り入れを解消するよう、県から通知されている。国保運営協議会等で、市民の負担が大きくならないよう、慎重に進める。

◆30年度後期高齢者医療特別会計予算

◆30年度介護保険特別会計予算

問 30年度からの第7期介護保険料の見込みは。

答 基金からの繰入金を3年間で4億7千万円見込み、月当たりの基準額を現在と同額の5400円に据え置く想定である。

◆30年度市立病院事業会計予算

○以上4件は原案のとおり可決。



3月定例会で審議した議案の結果

議案の件名	議決結果	会派ごとの賛否					
		清流 6人	サン 6人	共産 3人	公明 2人	絆 2人	無会派 清野 金崎
その他	県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少	○	○	○	○	○	○
	県市町村総合事務組合の規約変更	○	○	○	○	○	○
	指定管理者に指定する団体の変更（秩父市立浦山歴史民俗資料館）	○	○	○	○	○	○
市道	市道の路線変更	○	○	○	○	○	○
	市道の認定	○	○	○	○	○	○
	市道の廃止	○	○	○	○	○	○
条例	市有住宅条例	○	○	○	○	○	○
	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例	○	○	○	○	○	○
	空き家等対策協議会条例	○	○	○	○	○	○
	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○
	空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○
	福祉交流センター条例の一部改正	○	○	○	○	○	×
	児童館条例の一部改正	○	○	○	○	○	○
	子ども医療費支給に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○
	介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○
	特定公共賃貸住宅条例の一部改正	○	○	○	○	○	○
	都市公園条例の一部改正	○	○	○	○	○	○
	勤労者福祉センター条例の一部改正	○	○	○	○	○	○
	市立病院使用料及び手数料条例の一部改正	○	○	○	○	○	○
	学童保育室条例の一部改正	○	○	○	○	○	○

議案の件名	議決結果	会派ごとの賛否							
		清流 6人	サン 6人	共産 3人	公明 2人	絆 2人	無会派 清野 金崎		
29年度補正予算	一般会計補正予算（第5回）	○	○	○	○	○	○		
	国民健康保険特別会計補正予算（第3回）	○	○	○	○	○	○		
	後期高齢者医療特別会計補正予算（第2回）	○	○	○	○	○	○		
	下水道事業特別会計補正予算（第3回）	○	○	○	○	○	○		
	農業集落排水事業特別会計補正予算（第3回）	○	○	○	○	○	○		
	戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算（第3回）	○	○	○	○	○	○		
	駐車場事業特別会計補正予算（第3回）	○	○	○	○	○	○		
	市立病院事業会計補正予算（第3回）	○	○	○	○	○	○		
	30年度予算	一般会計予算	○	○	×	○	○	×	
		国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	
後期高齢者医療特別会計予算		○	○	○	○	○	○		
介護保険特別会計予算		○	○	○	○	○	○		
下水道事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○		
農業集落排水事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○		
戸別合併処理浄化槽事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○		
公設地方卸売市場特別会計予算		○	○	○	○	○	○		
駐車場事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○		
市立病院事業会計予算		○	○	○	○	○	○		
人事案件	教育長の任命（倉澤俊夫氏）	○	○	○	○	○	○		
	教育委員会委員の任命（高野豊子氏）	○	○	○	○	○	○		
	人権擁護委員候補者の推薦（坪内幸次氏）	○	○	○	○	○	○		
出議員提	議会の議員の定数を定める条例の一部改正	否決	○	×	×	○	○	×	×

清流：清流クラブ サン：サンライズ秩父 共産：日本共産党秩父市議会議員団
公明：公明党 絆：市民の会・絆 無会派：会派に属さない議員

○：賛成 ×：反対



スマートフォン
やタブレットで
視聴できます。

※録画中継は、各日の会議終了の概ね7日後から公開しています。

市議会では、本会議の様子をインターネットで録画中継にて配信しています。

パソコンのほか、スマートフォンやタブレットを使って自宅などで、いつでも好きなときに見ることが出来ます。

**インターネットで
議会議録中継を見る！**

一般質問

市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

<p>① 浅海 忠（市民の会・絆）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 幼保連携型認定こども園 2 地域教育力活用事業（夜勉） 3 市職員のタブレット端末導入 4 第三セクター統合 	<p>⑥ 江田 治雄（市民の会・絆）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 武甲山の現状 2 森林環境税の導入に向けた取組み 3 地域新電力会社の設立 	<p>⑪ 山中 進（日本共産党秩父市議会議員団）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育現場の現状 2 下水道・農業集落排水事業 3 施政方針
<p>② 荒船 功（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 施政方針 2 公共施設等総合管理計画 	<p>⑦ 福井 貴代（公明党）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 秩父版CCRC構想のモデル事業 2 聖地公園の合葬墓の整備と充実 3 西武鉄道「西武秩父駅」の改札口新設 	<p>⑫ 木村 隆彦（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 小中学校の施設の現状 2 観光案内板 3 保育園等の使用済み紙おむつの取扱い
<p>③ 高野 宏（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校給食 2 学童保育室等の長期休業中の昼食 3 南小学校のヘルメット着用登下校 4 番場通り電線地中化・無電柱化推進 	<p>⑧ 斎藤 捷栄（日本共産党秩父市議会議員団）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 宮地地内湧水の枯渇の原因究明と対策 2 権力者としての市長の政治姿勢 3 30年度市長施政方針の中から 	<p>⑬ 小櫃 市郎（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 今年の龍勢祭りの安全対策
<p>④ 金崎 昌之</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 事業継承に支援を 2 詐欺被害の現状と対策は 3 市立病院の医師・看護師確保 4 140号バイパス関連道路の交通安全 	<p>⑨ 落合 芳樹（サンライズ秩父）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地方消滅論 2 森林行政 3 教育行政 	
<p>⑤ 清野 和彦</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 妙見七つ井戸の調査と復元 2 施政方針 3 30年度予算 4 市長の政治姿勢 	<p>⑩ 出浦 章恵（日本共産党秩父市議会議員団）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 施政方針 2 福祉女性会館のトイレ改修 	

※市議会ホームページのインターネット録画中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。

（仮称）秩父市最先端 設備等導入促進計画



市民の会・絆 浅海 忠
あさひし ただし

問 どのような計画なのか、対象となる業種は。

答 国は30年度の税制改正大綱の中で、中小企業が設備投資を促進するための税制上の特例措置を示した。「生産性向上特別措置法」が閣議決定され、今後3年間を「生産革命・集中投資期間」に位置付け中小企業や小規模事業者が行う設備投資を促進する方針が打ち出された。各自治体の自主的な判断で固定資産税の課税標準を「ゼロ（2分の1）」の範囲で軽減出来ることとなり、市では「ゼロ」での措置を講じたい。「ゼロの減免」を適用するためには一定の条件があり、国のガイドラインに基づき、市が「導入促進基本計画」を作成する必要がある。中小企業は、基本計画に沿った形で設備導入計画を作成し、市の認定を受けなければ減免措置は受けられない。国のガイドラインが示されるのは30年6月頃とのことで、市の「（仮称）最先端設備等導入基本計画」を策定するのもこれに合わせて。対象となる業種は、製造業やサービス業が想定されている。生産工程やサービスに必要な先端的な設備

問 固定資産税免除の特例とは。

答 仮に、1億円の設備投資が対象となった場合、単純計算すると1年間の固定資産税が140万円、3年間で420万円が減免され市の税収減になるが、減収分の75%は普通交付税で補てんされる仕組みなので実質的には年35万円の減収となる。「ゼロ」に減免することを表明した自治体に限り「ものづくり補助金」が優先的に採択される。

◎第三セクター統合



道の駅ちちぶ(上)
道の駅あらかわ(下)

道の駅龍勢会館(上)
道の駅大滝温泉(下)

一般質問

第1プラント跡地の開発



清流クラブ 荒船 功

問 すでに12月定例会において、市道632号線が延長され、腰田堀を超えて国道299号に接続することになった。この市道整備に加えてさらに用途地域変更に取り組む理由は。また、太平洋セメント(株)との協議は。

答 この地域の現在の用途は工業地域で、1万平方メートルを超える大規模商業施設等の建設ができない状況となっている。そこで、市において最も交通需要が多く、国道140号に隣接し、ウニクス・道の駅ちちぶが立地し、商業的な土地利用が進んでいるこのエリアのさらなる利活用を進めるため、上野町交差点周辺の用途と同様の「近隣商業地域」への変更を計画している。今後、「近隣商業地域」へ変更されると、建築規制等が緩和され、観光誘導のための施設や商業施設の拡充などが可能となり、広域サービス地区としての充実に繋がるものと考えている。この跡地開発計画(企業誘致)は、市として何としても成し遂げたい目標であるため、太平洋セメント(株)とも十分な協議を重ね、各種手続きを進めている。



第1プラント跡地へ続く道の駅ちちぶの交差点

問 用途地域を変更するエリアは。旧第1プラント跡地西側の越田堀と国道140号の間、約6.5ヘクタールで、北側は陸橋下の引き込み線跡地、南側はウニクスまでのエリアである。

答 道路整備の概要は、国道140号からの進入路として、ウニクス・道の駅ちちぶの間で腰田堀までの現道を延長133メートル道路幅員10メートルのうち片側歩道2.5メートルに拡幅する。

教育・子育て支援



清流クラブ 高野 宏

問 学校給食について食材費等の値上げのため、全国的に給食費の値上げが起きているが、市では現在の給食費でやっていけるのか市の現状は。

答 市では、市立幼稚園は月額3200円、小学校月額4千円、中学校月額4800円を給食費として保護者から負担いただき、全て食材費に充てている。最近の野菜の値上げ等食材価格の高騰の中でも、給食費を値上げすることなく、学校栄養士の献立の工夫により、栄養価等の学校給食摂取基準を維持し、おいしく安全で安心な給食を提供することができている。

問 学童保育室・ふれあい学校の夏休み等の昼食について、給食等の導入の要望はあるか。今後導入に向けての検討は。

答 長期休業中の昼食については学童保育室・ふれあい学校ともに、原則家庭からの弁当をお願いしている。今年度、学童保育室1か所において、保護者の要望により、昼食に仕出し弁当の配達を取り入れた。今回は保護者会が実施主体となり試行的に実施したものが、約半数の児童が利用したも

の、常時利用した児童は数名であった。

これを受け、保護者会にアンケートを実施し、今後の実施について協議を行っている。現在、他の学童保育室では、昼食について、保護者からの要望はないが、こうした状況を踏まえ、公立の学童保育室・ふれあい学校の長期休業中の昼食について、家庭の状況、昼食の衛生面・栄養面、食育の観点や職員の負担等、多方面から研究していく。



安心安全おいしい給食

◎南小「ヘルメット」着用登校
◎番場通り電線地中化

一般質問

事業承継に支援を



かなさき まさゆき
金崎 昌之

問 団塊の世代の方々が、事業を後継者にバトンタッチする課題に直面している。雇用の確保という観点からも、事業承継への市の積極的な関わりや支援が必要では。

答 黒字経営なのに、後継ぎがないため廃業していく実態があり、非常に深刻な問題。経済団体の状況等を見ながら、市としての支援策を考えていきたい。

詐欺被害の現状と対策は

問 高齢者をターゲットにした電話等による特殊詐欺被害が心配される。被害状況と対策は。

答 秩父警察署管内の29年の特殊詐欺被害は8件で1230万円。防止対策としては、防災行政無線放送等での注意喚起や、相談窓口への案内、金融機関との連携強化等が取り組まれている。

市立病院の医師・看護師確保策

問 全国で医師が過酷な勤務状態にあると、新聞報道された。市立病院の勤務条件や給与水準が医師・看護師等の要員確保に与える影響をどう考えるか。

答 給与水準は、医師が県内9か所の公立病院のうち上から3番目。看護師は、県内10か所の公立病院の中で上から8番目。今後も、必要な勤務環境の改善を図ることで、医師・看護師を確保したい。

国道140号と299号接続後の交通安全対策

問 国道140号と299号が接続され、関連道路の交通安全に不安の声が寄せられている。

答 県との協力体制・情報交換を円滑にし、交通安全対策に努める。



国道140号皆野秩父バイパスと299号の接続地点

妙見七つ井戸の

調査と復元



きよの かずひろ
清野 和彦

問 秩父夜祭の起源伝承に関連する妙見七つ井戸の内の「四の井戸」は29年12月8日頃から水が減り、12月11日には枯れてしまった。周辺の田んぼはできなくなり畑に転用しているところもあるとのことである。7月の最終日曜日に地元で行う柿澤祭の前日のお水取りでは四の井戸の水を霊水としていただく、というように伝承によれば800年前から現在に至るまで地元住民の精神的な拠り所であると共に、暮らしとともにある水として大切にされてきた。市は「環境文化都市」を目指すべき姿として掲げているが、妙見七つ井戸はまさに秩父の風土・環境と伝統文化・伝承の交差する点に位置する生きた遺産であるといえる。地元町会から市に対して調査と復元を求める要望書が提出されているが、市としてはどのような対応を検討しているのか。

の地下水の出水は確認されなかったとのことである。湧水枯渇の原因が、人為的なものなのか、自然現象によるものなのか、当面その経過を観察したい。



早急な水枯れの原因調査と復元が求められる「四の井戸」

答 地下水脈への影響として考えられる枯渇前までの周辺の掘削工事としては、国道140号秩父警察署前交差点から聖地公園入口交差点までの国道西側歩道部分の水道工事などがあるが、工事期間中

◎30年度施政方針（教育の充実・外から人を呼び込む施策の推進・インターネットテレビ事業）
◎30年度予算（地方交付税の減少・形式赤字を防ぐための財政プラン）
◎議員提案の定数削減に関する市長の論評と二元代表制への理解

一般質問

秩父のシンボル武甲山



市民の会・絆 **江田 治雄**
えだ はるお

問 武甲山は、太古の昔からこの山を神の信仰として崇められて来た。まさに御神体を削り日本の高度成長時代に寄与し、秩父の産業発展に大きな功績を残して来た。古今東西御神体を削る話は他に聞いたことが無い。それを受け入れた先人達は、寛容で広い大きな心を持って居たのだと思う。現在の開発3社からの要請により、武甲山の山頂開発が始まったのが、昭和53年頃ときいている。山頂付近に市有林の存在があり、秩父市がキー的立場にあった。市では議会内に「武甲山対策特別委員会」を設置した。信仰対象の山でもあることから、多方面から開発反対のうねりが上がる中、地域にとつて開発の重要性を理解し、同意した結果成し得たと聞いている。すなわち市の英断により開発が始まったと言っても過言では無いと思う。日本実業界の父・渋沢栄一翁も、秩父のセメント業界は日本のインフラを支えた大きな要因であると言っている。開発の経緯と採掘状況について現状を把握しているか。

◎森林環境税について
◎地域新電力会社について



秩父のシンボル武甲山

位は466メートルである。また、今後は国から認可を受けている標高780メートルまで採掘する予定である。なお3社においては有望かつ重要な石灰石資源なので可能な限り採掘すること。市としても今後も注視して見守って行きたい。

秩父版CCRC構想のモデル事業について



公明党 **福井 貴代**
ふくい たかよ

問 秩父市生涯活躍のまちづくり構想のモデル事業として、上町3丁目の花の木市営住宅未利用地に計画されている「サービス付き中高年齢者向け住宅(サ高住)」と「交流拠点施設」の計画内容、タイムスケジュール、意見交換会、整備手法等の内容は。

答 公募事業者により整備される「サ高住」は、最大40戸・全戸南向き・バリアフリーで、エレベーターも整備していく予定。中庭を配置し、家庭菜園ができるスペースも用意する計画。地元への説明会を開催し、意見も伺う。入居者の募集や施設の運営は民間事業者が行う官民連携事業と位置付けている。「交流拠点施設」は、市が整備主体。完成後の運営は指定管理者を想定。7月実施設計完了、11月工事着工、31年3月竣工を予定。「サ高住」は4月整備及び運営事業者の公募、5月事業者決定。8月から9月に着工、31年6月ころ竣工となるよう進める予定。

◎聖地公園の合葬墓の整備と充実



秩父市版CCRC概要



花の木住宅未利用地

用者にとっては、駅へのアクセスが悪い状況にある。上町側に改札口を新設できないか。

答 33年度からの「都市計画マスタープラン」の策定の検討を30年度から進めていくが、その際に駅周辺のまちづくりとして、鉄道事業者や市民と検討する。

問 デマンド交通システムなど、二次交通の整備について検討は。

答 全国の先進事例を精査、研究し、引き続き関係機関との協議を進め、公共交通の充実に努める。

一般質問

市民生活の安心・安全をめざして

日本共産党秩父市議会議員団

さいとう 斎藤 かつしげ 捷栄



●宮地地内湧水枯渇の原因究明と対策

問 原因として考えられることはどのようなことが挙げられるか。

答 水道工事での出水はなく、人為的原因は不明で、降雨量などの自然現象などについては今後の推移を見ないとわからない。

問 原因究明は可能か。どのような対策が考えられるか。

答 地下水脈の物理的変化の可能性は、専門的見地からでないといけない。人為的なものか自然現象によるものかを含め、今後の推移を見ながら必要に応じて専門的知見を有する機関・有識者などとも相談しながら対策を講じていきたいと考えている。

問 原因究明と対策には、広範な情報共有が必要だ。27年度に秩父地方の湧水調査を行っている県との情報共有は図ってきたか。また地元住民からの聞き取り調査などについてはどう考えているか。

答 県環境管理事務所とは情報共有を図っている。地元住民からの聞き取り調査は行っていないが、今後の状況により検討する。

●30年度施政方針

問 秩父市歴史文化基本構想の策定には、各地にある「まつり」も対象として含まれるか。

答 3か年計画で悉皆調査を進め「まつり」も含め策定を行う。

問 新電力会社構想については、5万世帯分を超える発電量があり、電力の地産地消を進めるなど、市民が過剰期待を抱くようなミスリードは控えるべきではないか。

答 適度にブレーキも効かせながら着実な事業推進を図る。



枯渇前の妙見四の井戸

◎市長の政治姿勢

教育行政

サンライズ秩父

おちあい 落合 よしじゅ 芳樹



問 29年度よりモデル校3校から始まり、30年4月から小中学校の全校に導入される「コミュニティスクール」の取組みは。

答 従来からの地域連携の取組みを基に、あいさつ運動・登校安全指導・地域の清掃活動・体験学習・伝統芸能の継承活動などが行われており、その成果は、各活動組織間の相互理解、児童・生徒の地域に対する意識の向上、学校評価結果の向上などがある。

問 29年の3月31日に公示された「新学習指導要領」で、どのように変わるのか。

答 小学校では32年度から、中学校では33年度から全面实施する。今回の改定では、言語能力や情報活用能力の育成、道徳教育の充実、小学校5・6年生での外国語科としての英語、3・4年生での外国語活動の導入とそれに伴う総授業時数の増加、プログラミング的思考の育成を図るコンピュータ等を活用した学習活動の充実など、様々な改善事項やポイントがある。

問 「インクルーシブ教育」の取組みは。

答 市では、27年度から市内の小



インクルーシブ教育障がい者アスリートとの交流会

一般質問

市民へのサービス向上は 福祉女性会館トイレ改修

日本共産党秩父市議会議員団

出浦

章恵



問 福祉女性会館を年に40回以上利用している市民から議会に届けて欲しいという手紙が届いている。女子用トイレの便座を洋式に変えてもらった事には、使用上本当に助かっているが、冷たい便座を冬場の対策として、暖房便座に改修を至急お願いしたいという声である。調査してみると個室が3つあるが、一番左の個室は入り口がアコーディオンカーテンで、洋式トイレの便座が冷たい。一番右の個室は、未だに和式便器のままとなっている。冷たい便座から暖房便座への改修についての考えは。

答 福祉女性会館は、ファシリテイマネジメントの観点から32年度を目前に今後の施設の在り方について検討を進めている。昭和52年に建築され、すでに40年以上経過して、トイレに限らず様々な個所が老朽化し、不具合が生じているが、修繕は利用者の安全を確保するなど必要最小限の修繕に留めている。簡易的につくられた古いタイプの障がい者対応トイレで、無理に手すりを設置したため狭く、扉も使いづらい状況であることは把握している。また、便座の一

部が破損していて、修繕についても検討している。一階女子トイレからは、やや離れているが一階玄関ホール右奥側に多目的トイレがある。十分なスペースがありシャワー付き暖房便座のトイレがあるので、不便をかけるが、こちらを活用して欲しい。



改修の要望があるトイレ

ゆきとどく教育と福祉

日本共産党秩父市議会議員団

山中

進



●教育現場の現状

問 児童・生徒のいじめ・不登校について、現在、減少しているとは思えない。不登校については全体では一クラスにも上ると聞いている。また、ニュース等でいじめによる自殺などいまだに後を絶たない。市内小中学校での現状は。さらにいじめ対策委員会も開かれている。高校への進学についてどのような働きかけを行っているのか。対策は。

答 いじめの認知件数は小中学校全体で66件、不登校の件数は39件。「市いじめ防止基本方針」に基づき教育活動を通じて各関係機関と連携し情報共有と取組みについて協議し、問題解決に取り組んでいる。高校進学については28年度は不登校の生徒を含め概ね生徒の進路先が決定している。今後も、各校では進路相談や適応指導教室など相談体制を整備している。

●下水道・農業集落排水事業

問 下水道等施設整備分担金について一部ではあるが、農業集落排水事業の整備が受けられない地域があり、10年が経過している。ど

のような対策を講じてきたのか。整備されない理由があるのであれば分担金の返還に応じることも考えられるのではないか。また、他に同様の事例はないか。

答 市生活排水処理基本計画に基づき整備を各施設、エリアごとに普及促進を進めていく。



荒川西小学校卒業式

- ◎ 施政方針から
- ◎ 障がい者福祉事業
- ◎ 子どもの貧困対策
- ◎ 200年生の森づくり
- ◎ 番場通り電線地中化

一般質問

まちなか回遊案内板



清流クラブ 木村 隆彦
きむら たかひろ

問 中央商店街を中心に「まちなか回遊案内板」と記載された観光案内板が設置されている。歩道や道路に埋め込まれていて、観光地の写真や経路が示されている。設置数も多く、巨額の費用をかけて設置されたと思うが、この案内板は、いつ頃、どのくらいの枚数をどのような財源で設置したのか。

答 「まちなか回遊案内板」は、国の補助事業の都市再生整備計画のひとつとして、21年度に101か所設置した。市民や事業者の声を反映し、地元の協力を得て、観光客を中心市街地へと誘導するために設置した。

問 商工会議所まちづくり委員会では29年11月に観光案内板の状況調査を行った。地場産センターから本町・中町を通り、西武秩父駅。さらに東町・番場通りの観光案内板等の状況を、観光客の目線で調査した。特に気になったのは「まちなか回遊案内板」だった。案内図がほとんど見えないものも多く、車道にあり観光客が立ち止まって見ることでできないようなものもあった。また、メンバーからは、表面がつるつるしているの

◎保育園等の使用済み紙おむつの取扱い



まちなか回遊案内板の現状

で、雨や雪の日にはすべりやすく非常に危険である。などの意見も出た。そこで商工会議所まちづくり委員会では、「まちなか回遊案内板」の撤去またはメンテナンスに関する要望書を提出した。要望について対応は。
答 現在、調査中で6割を確認した。やはり、その3割から4割はみすぼらしいものや剥がれているものがあり、撤去またはメンテナンスを行っていききたい。

「秩父吉田の龍勢」 国重要無形民俗文化財



清流クラブ 小櫃 市郎
おびつ いちろう

問 30年3月8日に文部科学大臣から「国の重要無形民俗文化財」として「秩父吉田の龍勢」が指定を受けた。同日夜には龍勢会館において国指定報告会が盛大に行われた。あいにくの冷たい雨にもかかわらず230人が参加し、指定証書の披露、くす玉割り、懸垂幕を披露し、指定を祝った。打ち上げ式煙火として全国で初めての指定であり、注目度が上がり、今年の祭りは例年以上の観光客が予想されるが、祭り対策をどのように考えているか。

答 国の重要無形民俗文化財に指定されたことにより、多くの報道機関に取り上げられ、例年に比べ多くの観光客が訪れると予想される。例年10万人近い観光客が訪れるため、万が一の事故を無くすため、防護ネットを設置しているが、経年劣化がありネットの更新について龍勢保存会と検討する。駐車場対策では、河川敷や吉田小中学校の校庭を臨時駐車場とするほか、地元企業にも一般開放していただいているが、今年は、秩父みどりが丘工業団地の企業に協力いた

だき、駐車スペースを増やし、バスでの送迎の増便を検討する。各駅からの臨時直行バスも運行してあげる。観客席も、毎年満席状態のため、空地を活用し、客席の増設について検討する。雑踏警備は、小鹿野警察署に例年以上の協力、指導をいただくとともに、係員として多くの職員にも協力をお願いする。龍勢保存会をはじめ、関係機関と協力し、安全に楽しんでいただけるよう万全を尽くしたい。



龍勢会館で行われた国重要無形民俗文化財指定報告会

傍聴席へのご案内

傍聴される際に、特別な手続きや事前の予約は必要ありません。傍聴を希望する本会議当日に、本庁舎4階の「傍聴受付」にお越しください。傍聴券へ必要事項をご記入ください。



1. エレベーターで4階まで上ります。



3. 傍聴席の入り口は、「傍聴受付」の左奥にあります。



2. エレベーターを降りると左側に「傍聴受付」があります。



4. 傍聴席は全部で41席（一般席）あります。

人事案件

秩父市教育長の任命、秩父市教育委員会委員の任命、人権擁護委員候補者の推薦について意見を求められ、市議会は次の方を適任と認め同意することに決定しました。

秩父市教育長

倉澤 俊夫 氏

秩父市教育委員会委員

高野 豊子 氏

人権擁護委員候補者

坪内 幸次 氏

6月定例会の予定

日 程	議 事
6月6日(水)	開会、議案説明
11日(月)	議案に対する質疑
12日(火)	総務委員会
13日(水)	まちづくり委員会
14日(木)	文教福祉委員会
18日(月)	一般質問
19日(火)	
20日(水)	
26日(火)	委員長報告、採決、閉会

※各日、午前10時開会予定です。
 ※議場は、本庁舎の4階です。
 ※日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合があります。

編集後記

日増しに暖かさを感じる季節となりました。3月定例会も終わり、議員の4年間の任期（4月30日）も終わろうとしています。この議会だよりが皆様のお手元に届くころには、新たに市民の皆様の信任を受けた議員が選出され、議会だよりも新たなメンバーにより編集されると思います。議会だよりの目的は、議会の内容を中立・公平により分かりやすく伝えることです。そして、市民の皆様に気軽に読んでいただけるように編集してきました。今後も市民の皆様の御意見をいただき、気軽に手に取って読んでいただけるように進化させていくことが課題だと思っています。4年間ご覧いただきありがとうございます。ありがとうございました。

平成30年3月 木村 隆彦 記

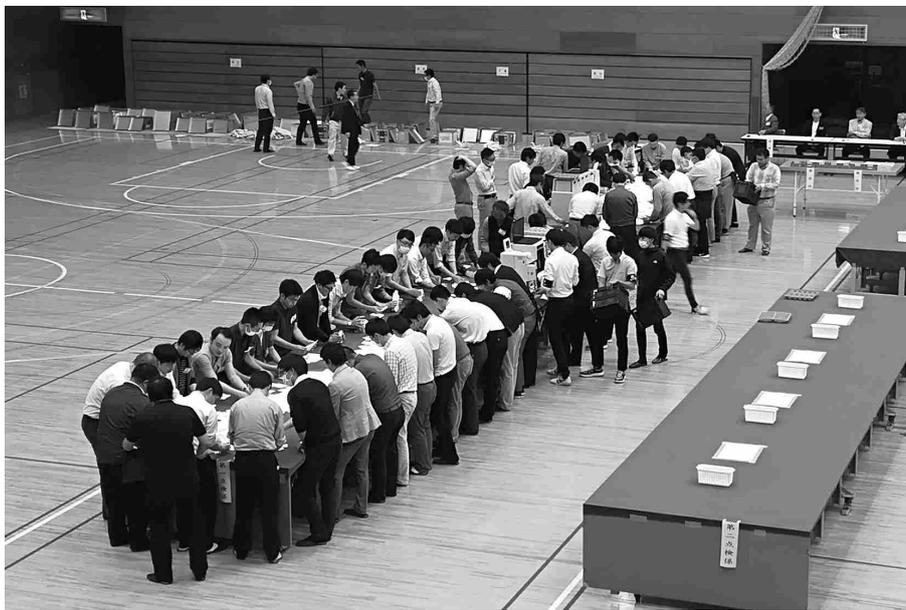
編集委員

委員長 木村 隆彦
 副委員長 大村 保彦
 委員 江田 治雄
 委員 清野 和彦
 委員 赤岩 秀文
 委員 出浦 章宏
 委員 高野 宏

特報 市議会議員選挙の結果

22人の議員が決まる

去る4月22日に秩父市議会議員選挙が行われ、22人の議員が決まりました。今後4年間、秩父市発展のため市民の代表として活動する議員を紹介します。



当選者のプロフィール

掲載順は右から五十音順です。なお、敬称略、政党名、当選回数（合併前を含む）、年齢は平成30年5月1日現在です。

56歳
日本共産党・6回



いでうら あきえ
出浦 章恵

77歳
無所属・4回



あら いじゅういちろう
新井重一郎

63歳
無所属・7回



あさみ ただし
浅海 忠

40歳
無所属・2回



あかいわ ひでふみ
赤岩 秀文

61歳
無所属・6回



おびつ いちろう
小櫃 市郎

58歳
公明党・3回



おおくぼ すずむ
大久保 進

41歳
無所属・1回



えだ とおる
江田 徹

68歳
無所属・4回



かみばやし とみお
上林 富夫

66歳
新社会党・5回



かなさき まさゆき
金崎 昌之

62歳
無所属・5回



かさばら こうへい
笠原 宏平

47歳
無所属・2回



くろさわ ひでゆき
黒澤 秀之

34歳
無所属・2回



きよの かずひこ
清野 和彦

59歳
無所属・3回



きむら たかひこ
木村 隆彦

64歳
無所属・3回



たかの ひろし
高野 宏

32歳
日本共産党・1回



さくらい ひとし
櫻井 均

67歳
無所属・3回



ごの かみしげし
五野上茂次

68歳
無所属・1回



ほりくち よしまさ
堀口 義正

70歳
無所属・3回



とみた としかず
富田 俊和

57歳
無所属・1回



つちや しんいち
土谷 眞一

69歳
日本共産党・7回



やまなか すすむ
山中 進

61歳
公明党・1回



もとはし みつぎ
本橋 貢

75歳
無所属・3回



まつざわ かずお
松澤 一雄